

平成24年7月27日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 WOWOW

コード番号 4839 URL <http://www.wowow.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 和崎 信哉

問合せ先責任者 (役職名) IR経理局長

(氏名) 郡司 誠致

TEL 03-4330-8097

四半期報告書提出予定日 平成24年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	17,213	5.1	1,180	△63.8	1,329	△60.6	828	△59.9
24年3月期第1四半期	16,376	0.6	3,264	18.1	3,371	12.0	2,064	14.9

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 658百万円 (△66.9%) 24年3月期第1四半期 1,993百万円 (27.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	5,743.32	—
24年3月期第1四半期	14,316.63	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	48,546	—	29,407	—	—	60.2
24年3月期	47,656	—	29,335	—	—	61.1

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 29,213百万円 24年3月期 29,134百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	4,000.00	4,000.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	4,000.00	4,000.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	34,900	6.7	2,900	△43.4	3,000	△44.2	1,800	△47.1	12,480.76
通期	70,700	6.2	5,300	9.7	5,500	9.4	3,400	0.1	23,574.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	144,222 株	24年3月期	144,222 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	— 株	24年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	144,222 株	24年3月期1Q	144,222 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は平成24年7月27日(金)に機関投資家向けの決算説明会を開催いたします。当日使用する決算説明資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表等 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8
4. 補足情報 .....	9
(1) 販売の状況 .....	9
(2) 四半期個別業績情報（参考） .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものです。

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により景気全体が依然として厳しい状況にあるものの、復興需要等を背景として緩やかに回復しつつあります。しかしながら、欧州政府債務危機の影響などを背景とした海外景気の下振れ懸念などにより、先行き不透明な状況が続いております。

放送業界におきましては、広告市況は東日本大震災の影響による落ち込みから回復基調にあります。また、放送の完全デジタル化に伴うデジタルテレビの普及や、BSデジタル放送の多チャンネル化により、有料放送市場は拡大が期待されております。

このような環境下、当第1四半期連結累計期間における収支の状況は、平成23(2011)年10月からのフルハイビジョン・3チャンネル化と共に強化された番組力及びそれに伴う加入件数の伸びにより有料放送収入が対前年同期比で増加し、売上高は172億13百万円と前年同期に比べ8億36百万円(5.1%)の増収となりました。3チャンネル化の影響並びに当第1四半期連結累計期間において大型番組の放送を行ったため番組費が前年同期に比べ増加し、宣伝活動を抑制した前年同期に比べ広告宣伝費が増加したことにより、営業利益は11億80百万円と前年同期に比べ20億83百万円(△63.8%)の減益、経常利益は13億29百万円と前年同期に比べ20億41百万円(△60.6%)の減益となりました。四半期純利益は8億28百万円と前年同期に比べ12億36百万円(△59.9%)の減益となりました。

当社グループは、放送衛星を使った放送事業に係るサービスを行う「放送」、放送事業に係る顧客管理業務を含む「テレマーケティング」の2つを報告セグメントとしております。各セグメントの状況は次のとおりです。

## &lt;放送&gt;

当第1四半期連結累計期間におきましては、「WOWOWプライム」、「WOWOWライブ」、「WOWOWシネマ」のチャンネル特性を活かした番組ラインナップを配し、コンテンツの更なる充実を図りました。また、各チャンネルのコンセプトをより明確にし、それぞれのターゲット層に向けたプロモーションを展開しました。

「WOWOWプライム」では、「CSI:11 科学捜査班」などの海外ドラマのほか、連続ドラマW「マグマ」や「罪と罰 A Falsified Romance」などのオリジナルドラマが好評を得ました。

「WOWOWライブ」では、4年に一度開催される「UEFA EURO 2012™ サッカー欧州選手権」を中心とした大型スポーツイベントが加入獲得に大きく貢献しました。7月2日開始の加入者限定番組配信サービス「WOWOWメンバーズオンデマンド」においてもEURO全試合のライブ配信を先行スタート、お客さまとの接触頻度の増加に繋がりました。この他にも、「全仏オープンテニス」やMr. Childrenのデビュー20周年記念日に開催したアニバーサリーライブの生中継が加入獲得を牽引しました。

「WOWOWシネマ」では、「プリンセス トヨトミ」や「ブラック・スワン」といった世代を問わず楽しめる、話題の人気作品を揃えたメガヒット劇場が好評を得ました。

映画製作では、WOWOW FILMS製作参加作品「ガール」を公開しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における放送セグメントの売上高は165億44百万円と前年同期に比べ8億88百万円(5.7%)の増収、セグメント利益は10億80百万円と前年同期に比べ19億35百万円(△64.2%)の減益となりました。

当第1四半期連結累計期間の新規加入件数等は次表のとおりとなりました。複数契約(注)は、当第1四半期末時点において348,479件(前年同期末デジタルダブル契約数に比べ61,753件の増加)となっております。

(注) 当社は平成23(2011)年10月より、それまでの「デジタルダブル契約」に代えて、同一契約者による2契約目と3契約目につき月額2,415円(税込)の視聴料金を945円(税込)に割引、当該割引の対象となる契約を「複数契約」と呼称しております。

	新規加入件数	解約件数	正味加入件数	累計正味加入件数
加入及び解約件数 (対前年同期増減率)	193,688 (59.1%)	125,555 (△51.9%)	68,133 (-)	2,615,695 (10.2%)

## &lt;テレマーケティング&gt;

連結子会社の(株)WOWOWコミュニケーションズにおいて、テレマーケティング業務受託、各種コンタクトセンター受託運営を行っております。引き続き人材育成、品質の維持向上を図ると共に、BPOサービスの開発・拡充により新規顧客獲得、既存顧客からの新規受注獲得を目指しましたが、カスタマーサービス予算の削減に伴う既存顧客からの受注減及びデジタル放送移行対応業務の前年同期比減少を賄うには至らず、当第1四半期連結累計期間におけるテレマーケティングセグメントの売上高は14億29百万円と前年同期に比べ2億56百万円(△15.2%)の減収となり、セグメント利益は1億6百万円と前年同期に比べ1億48百万円(△58.3%)の減益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は485億46百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億90百万円の増加となりました。主な要因は、流動資産で番組勘定が減少したものの、現金及び預金が増加したことによるものです。

(負債)

負債は191億38百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億18百万円の増加となりました。主な要因は、流動負債で買掛金が減少、1年以内返済予定の長期借入金が増加し、固定負債で長期借入金が増加したことによるものです。

(純資産)

純資産は294億7百万円となり、前連結会計年度末に比べ71百万円の増加となりました。主な要因は、四半期純利益の計上及び剰余金の配当によるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.9ポイント低下し、60.2%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24(2012)年5月15日に公表した連結業績予想の修正は行っていません。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には、当第1四半期連結会計期間末において以下の事項があります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

- ① 加入者獲得・維持に関わるリスク
- ② 加入代理店に関わるリスク
- ③ B S (放送衛星) 利用に関わるリスク
- ④ 当社の地上設備に関するリスク
- ⑤ B-CASカードのセキュリティーに関わるリスク
- ⑥ コンテンツに関わるリスク
- ⑦ 映画製作・配給投資に関わるリスク
- ⑧ 著作権などの知的所有権に関わるリスク
- ⑨ 放送関連法制度に関わるリスク
- ⑩ 加入者の個人情報保護に関わるリスク
- ⑪ 為替レートの変動に関するリスク

各リスク項目の詳細につきましては、平成24年3月期決算短信(平成24年5月15日提出)添付資料4ページの「1. 経営成績 (4) 事業等のリスク」をご覧ください。当社決算短信は、次のURLからご覧いただくことができます。

(当社ホームページ(IR資料室))

[http://www.wowow.co.jp/co\\_info/ir/ref/](http://www.wowow.co.jp/co_info/ir/ref/)

(東京証券取引所ホームページ(上場会社情報検索ページ))

<http://www.tse.or.jp/listing/compsearch/index.html>

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産のうち定率法を採用するものにつき、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。この変更による影響は軽微です。

3. 四半期連結財務諸表等  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,191	10,172
売掛金	3,069	3,600
番組勘定	11,880	10,788
貯蔵品	53	47
繰延税金資産	1,139	1,206
その他	1,277	1,143
貸倒引当金	△208	△177
流動資産合計	25,402	26,781
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,213	2,166
機械及び装置（純額）	5,117	4,871
工具、器具及び備品（純額）	672	731
その他（純額）	19	19
有形固定資産合計	8,023	7,788
無形固定資産		
借地権	5,011	5,011
のれん	21	15
その他	1,947	1,850
無形固定資産合計	6,979	6,877
投資その他の資産		
投資有価証券	5,807	5,756
繰延税金資産	314	323
その他	1,194	1,076
貸倒引当金	△65	△57
投資その他の資産合計	7,250	7,099
固定資産合計	22,253	21,765
資産合計	47,656	48,546

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	11,385	9,737
1年内返済予定の長期借入金	—	1,500
未払法人税等	561	469
賞与引当金	52	74
機械設備撤去費用引当金	38	36
その他	4,811	4,368
流動負債合計	16,849	16,186
固定負債		
長期借入金	—	1,500
退職給付引当金	1,300	1,333
その他	170	118
固定負債合計	1,470	2,952
負債合計	18,320	19,138
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	2,738	2,738
利益剰余金	21,432	21,683
株主資本合計	29,170	29,422
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	152	110
繰延ヘッジ損益	△187	△318
その他の包括利益累計額合計	△35	△208
少数株主持分	200	193
純資産合計	29,335	29,407
負債純資産合計	47,656	48,546

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	16,376	17,213
売上原価	7,657	10,025
売上総利益	8,719	7,187
販売費及び一般管理費	5,455	6,006
営業利益	3,264	1,180
営業外収益		
受取利息	0	0
持分法による投資利益	30	97
為替差益	1	26
その他	77	29
営業外収益合計	109	154
営業外費用		
支払利息	0	4
その他	1	1
営業外費用合計	2	6
経常利益	3,371	1,329
特別損失		
固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損	3	—
特別損失合計	4	0
税金等調整前四半期純利益	3,366	1,329
法人税、住民税及び事業税	1,257	506
法人税等調整額	37	△8
法人税等合計	1,294	498
少数株主損益調整前四半期純利益	2,072	831
少数株主利益	7	3
四半期純利益	2,064	828

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,072	831
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	△41
繰延ヘッジ損益	△50	△75
持分法適用会社に対する持分相当額	△32	△55
その他の包括利益合計	△78	△172
四半期包括利益	1,993	658
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,985	655
少数株主に係る四半期包括利益	7	3

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2.
	放送	テレマーケ ティング	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,656	720	16,376	—	16,376
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	965	965	△965	—
計	15,656	1,686	17,342	△965	16,376
セグメント利益	3,015	254	3,269	△5	3,264

(注) 1. セグメント利益の調整額は連結調整によるものであり、セグメント利益の調整額△5百万円には、のれん償却額が△5百万円含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2.
	放送	テレマーケ ティング	計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,544	668	17,213	—	17,213
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	760	760	△760	—
計	16,544	1,429	17,973	△760	17,213
セグメント利益	1,080	106	1,186	△5	1,180

(注) 1. セグメント利益の調整額は連結調整によるものであり、セグメント利益の調整額△5百万円には、のれん償却額が△5百万円含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 4. 補足情報

## (1) 販売の状況

当第1四半期連結累計期間における売上高実績をセグメントごとに示すと、次のとおりです。

セグメントの名称	売上高（百万円）	前年同四半期比（％）
放送	16,544	105.7
テレマーケティング	668	92.8
合計	17,213	105.1

- (注) 1. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。  
 2. セグメント間の取引については相殺消去しております。  
 3. 放送セグメントには有料放送収入15,916百万円を含んでおります。

## (2) 四半期個別業績情報（参考）

## ① 個別経営成績（累計）・個別財政状態

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	16,529	5.7	1,071	△64.3	1,349	△61.7	895	△61.6
24年3月期第1四半期	15,634	0.9	3,001	18.4	3,528	18.3	2,332	23.5

	総資産		純資産	
	百万円		百万円	
25年3月期第1四半期	43,591		24,875	
24年3月期	42,665		24,673	

(注) 個別経営成績（累計）・個別財政状態の数値は、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

## ② 平成25年3月期の個別業績予想

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期（累計）	33,300	6.8	2,900	△44.7	1,700	△51.3	11,787	38
通期	67,600	6.2	5,000	8.5	3,100	△6.3	21,494	64

(注) 当四半期における業績予想の修正はありません。